

週 報

「信じます。

不信仰なわたしを、
お助けください」。

(マルコによる福音書第9章24節)



人と神、人と人をつなぐ難しい働きをしています
日本基督教団 西宮公会教会

〒662-0834

兵庫県西宮市南昭和町 10-22

TEL 0798-67-4691

FAX 0798-63-4044

郵便振替 01170-3-4901

ホームページアドレス

<http://www.koudou.jp/>

電子メールアドレス

koudou@gamma.ocn.ne.jp

小さな手大きな手

(前週よりのつづき)

とは言え、「原子力防災概説」には、重大事故（シビアアクシデント）についての言及と、それが起こったとしても、「拡大を防止し」また「シビアアクシデントに拡大した場合にも、その影響を緩和する」措置も言及されています。

「設計基準事象を大幅にこえる事象であって、安全設計の評価上想定された手段では適切な炉心の冷却または反応度の制御ができない状態であり、その結果、炉心の重大な損傷に至る事象を、シビアアクシデントと呼んでいる」

一応は、それは「起こらない」ではなく起こる可能性、確率も想定されています。ただし「…アクシ

デントマネジメントを実施する上で必要な設備上の対応に加え、支援組織を含めた実施体制や手順書の整備…」となっていて、その上での「アクシデントマネジメント等の概要」です。

「…アクシデントマネジメントの整備の結果、原子力発電所のシビアアクシデントによるリスクが更に低減され」た結果の「事故の確率」も示されています。

「最近の加圧水型原子炉(PWR) (80万kW級3ループ) に関する確率論的安全評価では、炉心損傷頻度が約 10^{-7} /炉年 (約1000万年に1回)、格納容器機能喪失頻度が約 10^{-8} /炉年 (約1億年に1回) という確率論的安全評価による評価結果が得られている」

そして、「アクシデントマネジメント等の概要」も「解りやすく」図示されています。

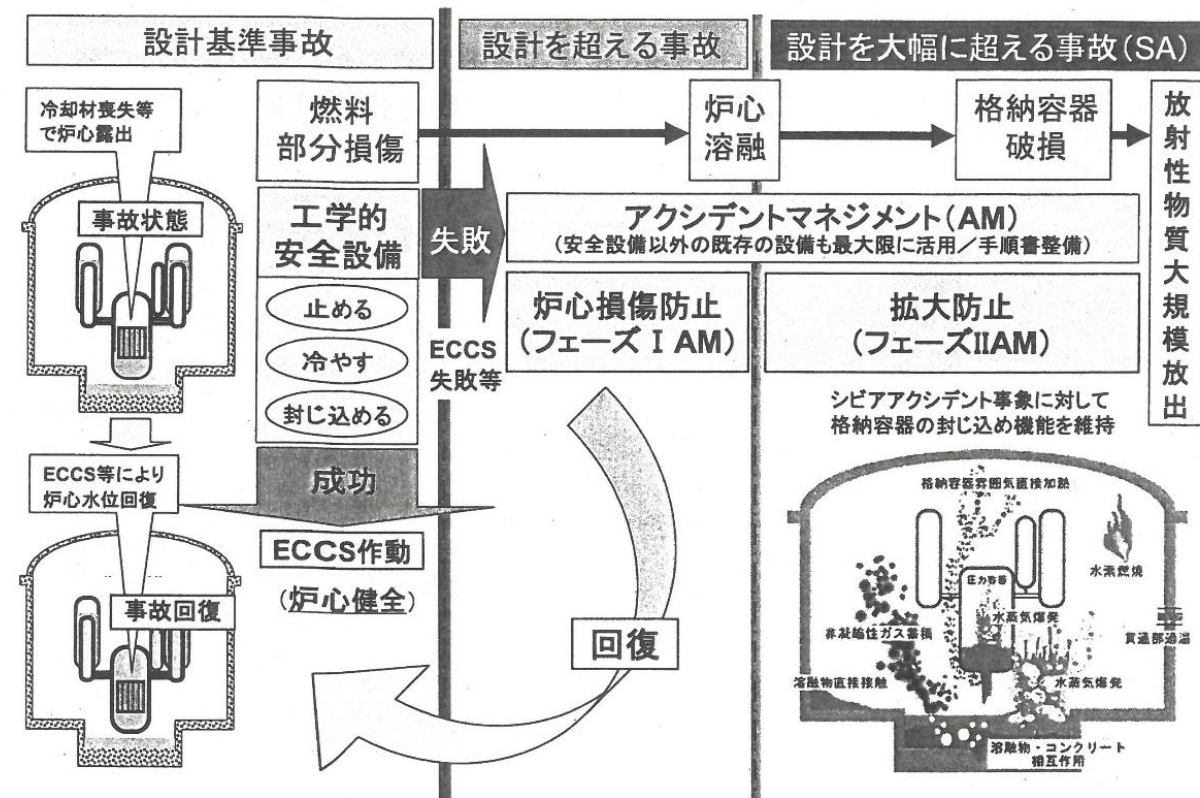


図 3-2 アクシデントマネジメント策の概要

(次週につづく)